施設関係者評価会記録

幼保連携型認定こども園神戸女子大学附属高倉台幼稚園

日　　時　　令和５年１２月１９日　１４：30～１５：３０

場　　所　　高倉台幼稚園　１Ｆ　応接室

内　　容　　はじめのあいさつ

参加者　　平井　和恵　　神戸女子大学教育学科

山成　昭世　　神戸女子大学教育学科

隠岐　厚美　　神戸女子大学教育学科

木村奈帆子　　高倉台幼稚園園

濱田　　恵　　高倉台幼稚園主幹

久郷　真美　　高倉台幼稚園主幹

本園の取り組み説明

・本園の教育目標「優しい心をもち主体的に行動する子どもをめざして」

・今年度の努力目標「気持ちを込めて『ありがとう』話を聴く　やってみよう　考えよう」

・１学期保護者アンケート及び自己評価について

保育参観

意見交換及び評価

・努力目標「気持ちを込めてありがとう」は言葉だけではなく、保護者や祖父母、地域の方々との交流を通して、気持ちを込めて言葉で表現できるようになってきている。ひとつひとつの言葉を保育者も大切にしながら保育していくことが継続できるようにする。幼児期に「傾聴する」態度を身に付けることは大切である。

・保護者アンケートは、子どもと共に保護者自身の振り返りになるようにしたい。

・自己評価の組織運営では、リーダー等を位置付けたことで形ができ、組織として変わってきた。今後も新任の相談にのるフレンドシップパートナーをつくるなどして高め合う組織づくりに努めていく。また、同じ学年で保育記録を回覧し、保育の質向上に繋げていく。

・保育者一人一人が自己評価することで園の運営や自分の保育を振り返ることができる。次年度に生かしていきたい。

・子どもを大切によく工夫して保育している。環境も季節に合ったものを考え、準備している。製作材料は子どもが使いたいときに、自分でどれがいいか考えながら手にとれる場所にあるのが望ましい。

・アプリの内容や時期を学年で計画を立て、普段の生活や遊びをアップし、保護者に子ども達の姿や育ちを伝えていけるようにしていく。

おわりのあいさつ